瀬谷中だより　３月号　令和５年３月３日

＜学校教育目標＞
○ 自ら学ぶ力の育成と基礎学力の定着 〔知〕
○ 他者を思いやり、礼儀や規律を重んじる態度の育成 〔徳〕
○ 生命を尊ぶ健康な心と体の育成 〔体〕
○ 社会に貢献し、様々な人と関わり合う態度の育成 〔公・開〕

発　行　横浜市立瀬谷中学校
校　長　熊野　一隆
住　所　瀬谷区中央５－４１
TEL 301-0096　FAX 301-0099

ほぞを固める出発の日に

校 長　熊野　一隆

温かい日と寒い日が繰り返し押し寄せてくるような日々です。まさに「三寒四温」という言葉の意味が身に染みる季節になりました。早く温かい日が続くよう祈るばかりです。

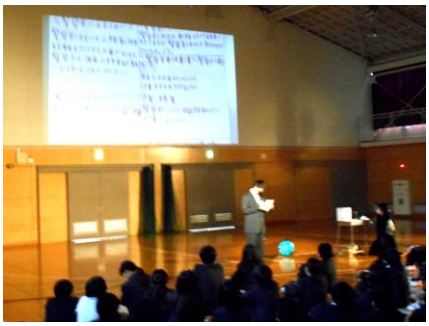
肌を刺すような冷たい風が吹きながらも雲一つない快晴で迎えた2月21日、3年生が待ち望んでいた球技大会が行われました。種目は男子がサッカーとハンドボール、女子がバレーボールとハンドボール。開会式から気合が入っており、男女4人による選手宣誓は、ユーモアあふれる楽しい内容でした。また、「さあー、これからだ」と言わんばかりの体育会系の準備体操も、腹の底から声を出しながら、皆を鼓舞する勢いのある体操でした。微笑ましい活躍に喝さいの拍手や声援が級友や保護者から送られ、心温まる光景でした。多くの保護者に参観いただき、感謝で一杯です。

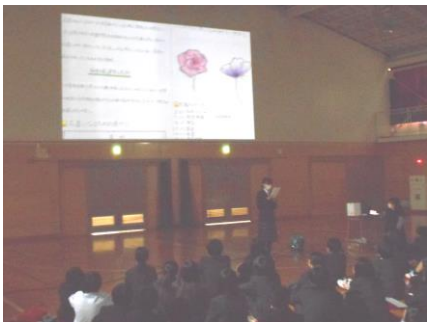
私が疑問に感じたのは、生徒の多くが競技中はハーフパンツ姿だったことです。ルールでそのように決まっているのか分からなかったので、担当教員に確認しました。「生徒の中で決めたようです」との答えで、生徒みなの意気込みが伺えるエピソードだと思いました。応援している子ども達も祈るように級友のプレーを見守っており、健全に、また真っ直ぐに育った姿がそこにありました。そして、もう一つ疑問が。「なぜハンドボールを選択したのか」です。私はいくつかの学校に転勤し、その学校の特色を生かした球技大会を見てきましたが、ハンドボールを選んでいる学年は初めてです。保健室で治療していた女子生徒にちょっと訊いてみました。「何でハンドボールが選ばれたのかな」と。するとその女子生徒は「うーん、何ででしょうか。ま、わちゃわちゃできるからだと思います」と答えてくれました。分かるような分からないような、ちょっとニュアンスがつかみにくい表現ですが、グランドでプレーしている女子生徒の姿を見て分かったような気がしました。根本的に「ハンドボールを選んで試合になるのかな」と半ば疑っていましたが、ちゃんとしたゲームになっていました。オフェンスもシュートを打っていたし、ディフェンスもパスカットしたり掴まえられるところはみんなで掴まえたりと、ボールを取り合っているプレーを見て、「みんなでゲームに参加できる種目がハンドボールで、これをみんなで『わちゃわちゃできる』と表現したのかな」と思いました。

大きな失敗をした時や防ぐことができる判断ミスをした時などに、「ほぞをかむ」と言います。そもそも「ほぞ」って何？「ほぞ」とはへその事です。自分のへそをかむことはできません。このことより「ほぞをかむ」とは自分の行ったことを悔いることで、「後悔先に立たず」と同じ意味です。これから卒業生は社会に出るわけですが、社会では後悔はつきものです。時には自分の行為を悔いる時もあるでしょう。しかし、その悔いた出来事から逃げずに真摯に反省し、良い方向に向かうよう「前向きな後悔」にしていくことが大切です。この「前向きな後悔」を、先人は「ほぞを固める」と表現しました。「ほぞを固める」すなわち「覚悟を決める」という意味です。いよいよ卒業式が近づいてきました。一つひとつに悔いている自分から「覚悟を決められる自分になる」出発の日になるよう、最後まで応援しています。　そして、教職員一同より3年生のみなさんに「卒業おめでとう」の言葉を贈ります。

１年生ー職業調べ発表会

１年生では、自分の将来を考えるために、3か月以上の間、職業調べを行ってきました。自分の好きなことはなにか、他の人から自分はどう見られているのかを知り、自分に合う職業を各々が調べ、発表を行いました。2 月 24 日には各クラスの代表の生徒が 1 年生全員の前で発表をしました。それぞれの夢をかなえられるように、鋭意努力していきましょう。





２年生ー職業講話

１月26日（木）に、2年生を対象とした職業講話が行われました。食品関係、電気関係、スポーツ用品店、医療関係、区役所、金融機関、研究職など、7つの事業所の方を講師としてお招きし、職業ごとのやりがいや魅力、これから生活をしていく上で大切なことなど、貴重なお話をしていただきました。2年生は、メモを取りながら真剣に話を聞き、これからの生活や進路選択の際に生かしていきたいことを考えることができました。

3年生一球技大会

2月21日（火）に3年生球技大会が行われました。どの会場でも白熱した試合が繰り広げられ、3年生らしい姿を垣間見ることができました。3年生の皆さん、お疲れ様でした。

卒業式に向けて…

職員室前や階段に、３年生の生徒が書いたメッセージカードで作った「THANK YOU」の文字が掲示されています。カードの一枚一枚には、後輩へのメッセージが書かれています。ぜひ、読んでみてください。

いよいよ卒業式まであと５日。本日「三年生を送る会」（とても盛り上がり、素敵な会になりました。運営・企画にあたった生徒の皆さん、お疲れさまでした!!）も終わり、週明け６日は予行練習です。いよいよ卒業の日が迫ってきました。

３年生の皆さん、卒業式では一人ひとりが主役です。堂々と胸を張って卒業証書を受け取ってくださいね。1,2 年生の皆さんは、代表生徒以外は卒業式には参加しませんが、その分前日準備等に心を込めて取り組みましょう。瀬谷中生みんなで、最高の卒業式にしましょう!!

４月の主な予定

※注：あくまでも予定です。変更の可能性がありますので、ご注意ください。

７日（金）	始業式・着任式、入学式
10 日（月）	離任式・新入生を迎える会
11 日（火）	学級写真撮影
14 日（金）	授業参観・学級懇談会・自然教室説明会 PTA 合同委員会
18 日（火）	全国学力・学習状況調査（３年生）
27 日（木）	横浜市学力・学習状況調査（全学年）

学校評価アンケート集計結果

Ⅰ学習について

生徒、保護者ともに、**「授業への取組」、「分かりやすい授業づくり」、「学習評価の方法についての説明」、「評価」について、「そう思う」「ややそう思う」が8割を超え**、全体的に高評価を得ていました。

「学習内容が十分に理解できているか」、「『連絡票』『学校生活の記録』に学習意欲を引き出す工夫がされているか」については、他の項目よりは若干低くなっていました。授業に積極的に取り組んでいる生徒が多いので、今後も「分かる授業」を意識した授業づくりに力を入れてまいります。また、「連絡票」や「学校生活の記録」を活用して学習意欲を高めていきたいと思います。

Ⅱ生活について

生徒、保護者ともに、**瀬谷中生は「思いやりのある言動を心がけている」、「安心して学校生活を送っている」、「人間関係を大切にする努力をしている」、「学校の決まりやマナーを守っている」について、「そう思う」「ややそう思う」が8割を超え、全体的に高評価**を得ていました。

「先生は悩みや困ったことについて話を聞いてくれる」について、生徒は9割を超える高評価でしたが、保護者の方の評価は若干低い傾向がありました。本校では、4月、8月末～9月、1月と長期休業明けに教育相談を行い、生徒個々の不安や悩みを受けとめられるようにしています。また、6月と12月には「学校生活アンケート」を実施し、必要に応じて相談活動につなげています。今後も保護者の方との連絡を密に取り、安心して学校生活を過ごせるよう、相談活動を進めていきたいと思います。

Ⅲ行事・その他の活動について

「学級ではみんなが協力し、充実した活動ができている」、「体育祭や文化祭などの行事が充実している」、「自然教室、遠足、修学旅行などの校外行事が充実している」について、「そう思う」「ややそう思う」が生徒は9割、保護者は8割を超える高評価を得ています。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、すべての行事を実施することができ、生徒の活動が充実していたからだと考えられます。今後も生徒が主体的に活動できる機会を増やし、それぞれの学年の目標に応じた活動ができるよう支援をしてまいります。

校内の活動が充実していた一方で、**「地域活動やボランティア活動に積極的に参加している」について、「そう思う」「ややそう思う」と回答した生徒は4割弱と低い結果**が見られました。「拡大ハマロードサポーター」などのボランティア活動に積極的に参加するよう、声掛けの仕方を工夫していきたいです。

「自分の将来について真剣に考えているか」について、「そう思う」「ややそう思う」と回答した生徒は8割に満たない結果でした。また、**「将来について考える機会や情報提供が充実している」についても、「そう思う」「ややそう思う」と回答した生徒は7割に満たない**という結果でした。ここ数年、新型コロナウイルス感染症の影響で、従来のような進路学習や職業講話などのキャリア学習（外部・地域の方の協力を得た体験的な学習）が実施できなくなってしまったことが要因と考えられます。今年度は、職業講話を1年生で1回、2年生で2回実施できました。今後も、実施方法や内容を工夫し、生徒が主体的に生き方や進路について考える機会を作ってまいります。

Ⅳその他

特別支援教育の取組について、**「教科連絡ボードの活用」や「授業等で見通しをもたせる指導など、分かりやすい工夫をしている」について、「そう思う」「ややそう思う」が9割を超える高い評価**でした。ここ数年、教職員はユニバーサルデザインを意識した教室環境の整備や授業の在り方について研修を進めてきたところですが、今後も引き続き「生徒にとって分かりやすい指示・授業づくり」を意識し、様々な指導に生かしてまいります。

地域の方からのご意見につきましては、すべての項目において8割を超える高評価でした。いただいたご意見は各部署で検討し、今後の学校教育活動に生かしてまいりたいと存じます。ご協力、ありがとうございました。